神戸大学医学部附属病院麻酔科専門研修プログラム

（大都市圏あるいは大学のモデルプログラム）

1. 専門医制度の理念と専門医の使命

① 麻酔科専門医制度の理念

麻酔科専門医制度は，周術期の患者の生体管理を中心としながら，救急医療や集中治療における生体管理，種々の疾病および手術を起因とする疼痛・緩和医療などの領域において，患者の命を守り，安全で快適な医療を提供できる麻酔科専門医を育成することで，国民の健康・福祉の増進に貢献する．

② 麻酔科専門医の使命

麻酔科学とは，人間が生存し続けるために必要な呼吸器・循環器等の諸条件を整え，生体の侵襲行為である手術が可能なように管理する生体管理医学である．麻酔科専門医は，国民が安心して手術を受けられるように，手術中の麻酔管理のみならず，術前・術中・術後の患者の全身状態を良好に維持・管理するために細心の注意を払って診療を行う，患者の安全の最後の砦となる全身管理のスペシャリストである．同時に，関連分野である集中治療や緩和医療，ペインクリニック，救急医療の分野でも，生体管理学の知識と患者の全身管理の技能を生かし，国民のニーズに応じた高度医療を安全に提供する役割を担う．

2. 専門研修プログラムの概要と特徴

専門研修基幹施設である神戸大学医学部附属病院は、専門研修連携施設群と連携したうえで専攻医が整備指針に定められた麻酔科研修の到達目標を達成できる教育を提供し、十分な知識・技術・態度を備えた麻酔科専門医を育成する。麻酔科専門研修プログラム全般に共通する研修内容の特徴などは別途資料**麻酔科専攻医研修マニュアル**に記されている。さらに麻酔科専門医の資格取得のみならず、本研修プログラムの参加者には以下の 5 つを目標とし、世界に通ずる麻酔医として活躍できるよう教育、研修を提供する。

・安全な周術期をあらゆる患者さんに提供すること
・周術期管理の中でリーダーシップを発揮できるようになること
・日常臨床の中で、自ら判断し根拠をもって問題解決できるようになること
・つねにリサーチマインドを有した医師になること
・自らの手で研究し、Clinical Question を解決する能力を持つこと

3. 専門研修プログラムの運営方針

- 研修の４年間を前半・後半のそれぞれ２年に分け、どちらかの２年間を専門研修基幹施設である神戸大学医学部附属病院と、特殊症例の多い連携施設（はりま姫路総合医療センター、西神戸医療センター、北播磨医療センター、甲南医療センター、加古川中央市民病院、兵庫県立こども病院など）で研修を行い、残りの２年間は希望により、神戸大学医学部附属病院もしくはその他の連携施設にて研修を行う。
- ４年間のうち最短で１年間は責任基幹施設である神戸大学医学部附属病院で研修を行うこととする。
- プログラムに所属する全ての専攻医が、研修期間４年間のうちの２年間で専門研修基幹施設、および連携施設において、専門研修に必要とされる特殊麻酔症例数を達成できるようローテーションを構築する。残り２年間の研修は、すべての領域を満遍なく回るローテーションを基本とするが、それぞれの専攻医のキャリアプランに合わせた調整が可能である。
- 専門研修基幹施設（神戸大学医学部附属病院）での研修には、集中治療およびペインクリニック領域での研修も含む。

研修実施計画例

<table>
<tr><th></th><th>コースＡ</th><th>コースＢ</th><th>コースＣ</th></tr>
<tr><td>専攻医
１年目</td><td>大学病院</td><td>専門研修連携施設
（特殊症例の多い）</td><td rowspan="2">専門研修連携施設
（大学病院での研修も可）</td></tr>
<tr><td>専攻医
２年目</td><td>専門研修連携施設
（特殊症例の多い）</td><td>大学病院</td></tr>
<tr><td>専攻医
３年目</td><td colspan="2" rowspan="2">専門研修連携施設
（大学病院での研修も可）</td><td rowspan="2">大学病院
＋
専門研修連携施設
（特殊症例の多い）</td></tr>
<tr><td>専攻医
４年目</td></tr>
</table>

週間予定表

神戸大学医学部附属病院麻酔科ローテーションの例

	月	火	水	木	金	土	日
午前	手術室	手術室	手術室	休み	手術室	休み	休み
午後	手術室	手術室	手術室	休み	手術室	休み	休み
当直			当直				

4. 研修施設の指導体制

① 専門研修基幹施設

神戸大学医学部附属病院

施設責任者：小幡　典彦

専門研修指導医：

小幡　典彦（麻酔）
野村　有紀（麻酔、ペインクリニック）
大井　まゆ（麻酔、小児）
巻野　将平（麻酔、集中治療）
法華　真衣（麻酔、心臓血管）
末原　知美（麻酔）
牛尾　将洋（麻酔、集中治療）
上野　喬平（麻酔、ペインクリニック）
西村　太一（麻酔、集中治療）
岡田　卓也（麻酔、心臓血管、ペインクリニック）
藤本　大地（麻酔、集中治療）
武部　佐和子（麻酔、心臓血管）
吉田　卓矢（麻酔）

専門医：

岡田　有理（麻酔）
白川　尚隆（麻酔）
杉野　太亮（麻酔）
坪井　ちづ（麻酔）
西原　侑紀（麻酔）
田中　明子（麻酔）
光井　誠子（麻酔）
阿瀬井　宏佑（麻酔）
中村　友季子（麻酔）
原田　みどり（麻酔）
中山　莉子（麻酔）
原　翔平（麻酔）
井関　将彦（麻酔）
中井　愛理（麻酔）
宮崎　純志（麻酔、集中治療）
森本　優佳子（麻酔）

南　綾乃（麻酔）
森　梓（麻酔）
志賀　萌（麻酔）
正田　康一郎（麻酔）
上村　圭広（麻酔）
早田　宜史（麻酔）
八代　和也（麻酔）

麻酔科認定病院番号：29

特徴：大学病院であることから高度専門・先進医療を提供している。多種多彩な症例の麻酔管理を経験できる。また、集中治療やペインクリニック分野においても十分な研修を行うことが可能である。

② **専門研修連携施設**

神戸市民病院機構　神戸市立西神戸医療センター

研修実施責任者：堀川　由夫

専門研修指導医：

堀川　由夫
飯島　克博
川瀬　太助

専門医：

濱場　千夏
内山　福美

麻酔科認定病院番号：738

特徴：神戸市民病院機構に属し、神戸市西地域の地域中核病院として心臓大血管手術以外の手術麻酔管理を研修することができる。神経ブロック症例も豊富に研修できる。また、集中治療部も麻酔科が主体となって管理しているため、重症患者管理を経験することができる。

神鋼記念病院

研修実施責任者：上川　恵子

専門研修指導医：

上川　恵子
宮崎　平祐
西山　由紀子
田宮　みゆき

井口　みお
福本　望美
松田　雅子
専門医
小阪　円
麻酔科認定病院番号：602
特徴：神戸市中心部の地域中核病院として専門研修指導医・専門医数も充実している。がん疾患の診療が多く国指定がん拠点病院，がんゲノム医療連携病院として医療を提供している。消化器外科、乳腺外科、呼吸器外科，泌尿器科などによる手術の麻酔管理を多く研修することが可能である。また二次救急としての応需件数も多く、脳神経外科、消化器外科の緊急手術も多数経験できる。

兵庫県立こども病院

研修実施責任者：香川　哲郎
専門研修指導医：
香川　哲郎（小児麻酔）
高辻　小枝子（小児麻酔）
大西　広泰（小児麻酔）
宮本　義久（小児麻酔）
上嶋　江利（小児麻酔）
末田　彩（小児麻酔）
藤原　孝志（小児麻酔）
田中　康智（小児麻酔）
上野　真穂（小児麻酔）
麻酔科認定病院番号　93
特徴：小児・周産期医療専門病院として、一般的な小児外科症例や各科の小児症例のほか、新生児手術、小児開心術、日帰り手術、血管造影等の検査麻酔、病棟での処置麻酔、緊急帝王切開等、一般病院では扱うことが少ない症例経験が可能。
小児がん拠点病院、地域医療支援病院、小児救急救命センター。

兵庫県立がんセンター

研修実施責任者：波戸　章郎
専門研修指導医：

波戸　章郎（麻酔、集中治療、ペインクリニック）
木村　好江（緩和ケア）
久野　有香（麻酔、集中治療）
丸中　淳　（緩和ケア）
加藤　洋海（麻酔）
進藤　一男（麻酔）

認定病院番号:0449

特徴：がん拠点病院であり、ゲノム医療の診療拠点としても活動している。硬膜外麻酔、脊髄くも膜下麻酔、各種末梢神経ブロック、分離肺換気を要する症例が多く、これらの技術を習得するために十分な経験を集中的に積むことができる。集中治療室は麻酔科医が中心となって運用されており、周術期管理に加え、敗血症や肺炎などの内科系重症疾患の管理も経験できる。緩和ケアにおいても麻酔科医が中心となって活動しており、がん性疼痛に対する神経破壊的ブロックも実施している。

週間スケジュール
月曜日から金曜日（8時00分から8時45分まで）：術前カンファレンス術、集中治療室回診、後疼痛管理チーム回診
月曜日から金曜日（9時から）：手術麻酔
月曜日から金曜日：麻酔科術前外来
金曜日（9時00から12時00分まで）：ペインクリニック外来（希望者研修可）

兵庫県立加古川医療センター

研修実施責任者：秋山　智幹
専門研修指導医：
秋山　智幹（麻酔）
高橋　亨子（麻酔）
佐野　秀（麻酔、救急、集中治療）
田原　慎太郎（麻酔、救急、集中治療）

麻酔科認定病院番号：204
特徴：救命救急センターを擁し、県の災害拠点病院、ドクターヘリ基地病院である。このため多種多様な２次、３次救急症例を引き受けている（産科を除く）。急性腹症も多彩な症例を経験できる。また、ドクターヘリ搬入の最重症の外傷症例では、多発外傷の Acute　Care　Surgery をはじめ、頭部外傷、脊髄損傷等の麻酔を経験できる。急性期脱出後は外科、泌尿器科、整形外科、形成外科等による集約的な修復・再建治療

の麻酔を経験できる。全身熱傷症例の麻酔も経験できる。脊椎外科センターでは脊椎手術の症例も多数あり、また泌尿器科ではロボット支援下の前立腺全摘術、腎部分切除術、腎摘出手術等の症例の麻酔を経験できる。

兵庫県立西宮病院

研修実施責任者：森　美也子

専門研修指導医：

森　美也子（麻酔）
古賀　聡人（麻酔）
築山　裕子（麻酔）
樋口　泰子（麻酔）
山根　悠（麻酔）
萩原　由梨子（麻酔）
桑原　緑（麻酔）
松本　祥（麻酔）
福家　陽奈（麻酔）

麻酔科認定病院番号：660

特徴：救命救急センターの指定を受けており、外傷、脳神経外科、産婦人科、外科等の緊急手術も多く多様な症例経験が可能。

地域周産期母子医療センターの指定を受けており、帝王切開等の緊急も含めた多彩な産婦人科の周術期管理が経験可能。

脊髄くも膜下麻酔・硬膜外麻酔・神経ブロックの経験多数可能。

腎移植手術の経験可能。2026 年４月より心臓血管外科手術にも対応。

兵庫県立淡路医療センター

研修実施責任者：渡海　裕文

専門研修指導医：

渡海　裕文（麻酔、集中治療）
山﨑　彩（麻酔）
久保田　恵理（麻酔）
久保田　健太（麻酔）
繁田　麻里（麻酔）
金城　永明（麻酔）

麻酔科認定病院番号：1529

特徴：地域救命救急センターの指定を受け、産科、小児科をはじめ、脳外科、心臓外科の救急や手術等、多様な周術期管理の経験が可能。

独立行政法人国立病院機構神戸医療センター

研修実施責任者：中川　明美

専門研修指導医：

中川　明美

石島　麻美子

山川　直子

専門医：

髙岡　悠子

酒巻　綾音

麻酔科認定病院番号：307

特徴：神戸市西地域の地域中核病院である。側弯症を含めた脊椎外科手術は全国でも有数の症例数であり、症候性側弯症の症例、気管支ファイバー操作の経験を積むことが可能である。また、外科や婦人科の腹腔鏡手術、整形外科の四肢手術の症例数も豊富なため、末梢神経ブロックの経験も積むことが可能である。数年前より、当院では無痛分娩を開始し、麻酔科は硬膜外カテーテル留置などを担っている。2025 年度より形成外科の常勤が着任したため、小児の症例や頭頚部手術も増えており、麻酔管理のバリエーションも増えてきている。

甲南医療センター

研修実施責任者：岡田　雅子

専門研修指導医：

岡田　雅子（麻酔、集中治療）

眞田　かなえ（麻酔）

松田　昌子（麻酔）

専門医：

平山　加枝（麻酔）

田邉　結理（麻酔）

小村　隆一郎（麻酔）

辻本　健志（麻酔）

中井　沙紀（麻酔）

麻酔科認定病院番号：749

特徴：神戸市東南部に位置する中核病院として救急医療・急性期医療を担っている。中央手術部には 10 室あり、麻酔科は６～7 室を管理しているほか、脳卒中センターが併設されているためアンギオ室での全身麻酔管理にも対応している。消化器外科、乳

腺外科、呼吸器外科、整形外科、脳神経外科、歯科口腔外科、耳鼻咽喉科、泌尿器科、形成外科、眼科、産婦人科、皮膚科、腎臓内科、消化器内科の麻酔科管理を行っており、整形外科を中心に緊急手術割合が多く、経験を積むことができる。集中治療において麻酔科は必要に応じて対応し、サポート体制を敷いている。周術期疼痛管理チームとして活動するほか、各診療科からの疼痛コントロールの相談に個別に対応している。

社会医療法人愛仁会高槻病院

研修実施責任者：三宅　隆一郎

専門研修指導医：

三宅　隆一郎（麻酔，心臓血管麻酔）
中島　正順（麻酔）
土居　ゆみ（小児麻酔，小児集中治療）
入澤　友美（麻酔，区域麻酔，集中治療）
西田　隆也（麻酔，集中治療）
棚田　和子（麻酔，心臓血管麻酔）

認定病院番号：829

特徴：大阪北摂地域で新生児から高齢者まで幅広い層に急性期医療を提供している．総合周産期母子医療センターを備えているため産科・小児（新生児含む）麻酔を豊富に経験することができる．また緊急手術の麻酔症例も多く，心臓血管外科や脳神経外科等も含めた様々な手術の麻酔を研修することが可能である．

社会医療法人愛仁会明石医療センター

研修実施責任者：多田羅　康章

専門研修指導医：

岡本　健志（麻酔）
多田羅　康章（麻酔、集中治療）
藤島　佳世子（麻酔）
松尾　佳代子（麻酔、産科麻酔）
濱崎　豊（麻酔、集中治療、心臓血管麻酔）
山崎　翔太（麻酔、心臓血管麻酔）
米田　優美（麻酔）
西　進介（麻酔）

麻酔科認定病院番号：1166

特徴：兵庫県東播磨医療圏で急性期医療を行っている。全身麻酔に硬膜外麻酔や神経ブロックなどを併用した管理や脊髄クモ膜下麻酔を積極的に行い、区域麻酔の技術習得を目指します。また、心臓大血管外科症例を通してJB-POTならびに米国周術期経食道心エコー資格の取得や、集中治療・産科麻酔（labor analgesia）領域の研修も可能です。

社会医療法人愛仁会千船病院

研修実施責任者： 角　千里

専門研修指導医：

角　千里（産科麻酔）
星野　和夫（麻酔）
嘉山　邦仁（麻酔）
大山　泰幸（麻酔）
大嶋　圭一（麻酔）
平塚　剛（麻酔）
菅野　睦（麻酔）
渡邉　真理子（麻酔）
戸尾　まゆみ（麻酔）

麻酔科認定病院番号：770

特徴：初期研修医を受け入れる初期研修医を受け入れる308床の地域の総合病院ですので、大病院では経験しにくいcommon　diseaseの待機手術や骨折や急性腹症などの緊急手術を幅広く行なっており、麻酔科医としての地力を鍛えることができます。2025年度麻酔科管理件数は4,473件/年、うち全身麻酔は2,233件/年でした。地域周産期母子医療センター、MFICU（6床）、NICU（15床）、ICU（4床）等を備え、24時間母体搬送に対応しています。分娩件数は2,600件/年と大阪府随一ですので、一般手術麻酔に加えてハイリスク妊婦を含めた帝王切開（667件/年）や無痛分娩（1,100件/年）等の産科麻酔を経験することができます。無痛分娩は麻酔科医が24時間対応し、カテーテル入れたら終わりではない質の高い鎮痛を目指しています。6ヶ月以上の期間でこれらの産科麻酔を集中的に研修する態勢も整えています。また、減量・糖尿病外科が高度肥満症麻酔の腹腔鏡下肥満手術を行っているほか、低侵襲手術支援ロボット「ダヴィンチ」が導入され、より低侵襲の手術も増加しています。

神戸市立医療センター中央市民病院

研修実施責任者：美馬　裕之

専門研修指導医：

美馬　裕之（麻酔、集中治療）
山崎　和夫（麻酔、集中治療）
宮脇　郁子（麻酔）
下薗　崇宏（麻酔、集中治療）
柚木　一馬（麻酔、集中治療）
野住　雄策（麻酔、集中治療）
桂　欣宏（麻酔、集中治療）

認定病院番号：　217

特徴：神戸市民病院機構の基幹病院として高度・先進医療に取り組むとともに救急救命センターとして24時間体制で1から3次まで広範にわたる救急患者に対応している。そのため心大血管手術、臓器移植手術、緊急手術など様々な状況で多種多彩な麻酔管理を経験できる。また、集中治療部を麻酔科が主体となって管理しているため大手術後や敗血症性ショック等の重症患者管理を研修することができる。

神戸赤十字病院

研修実施責任者：溝上　良一

専門研修指導医：

溝上　良一（麻酔、集中治療）
杉山　淳一（麻酔、救急）
熊田　雄太（麻酔、心臓血管麻酔）
植村　真弓（麻酔）

麻酔科認定病院番号：1059

特徴：救急に力を入れている病院であり、また、兵庫県災害医療センターが併設されていることもあり、緊急手術が多いという特徴がある。特に整形外科（外傷、脊椎）と心臓血管外科の緊急手術を多数経験することができる。予定手術患者に対しては術前外来を行い、重症症例に関しては術後集中治療室での管理を行うことで、術前から術後まで一貫した周術期管理を学ぶことができる。

姫路聖マリア病院

研修実施責任者：　若林　隆信

専門研修指導医：

若林　隆信
内海　潤
高橋　正裕
藤代　聖子

田口　祥子

麻酔科認定病院番号：1063

特徴：姫路市の中核病院で、ベッド数 39 胸部外科 0 床、重度身障者児施設 80 床を併設しています。消化器外科、胸部外科、整形外科、泌尿器科、産婦人科、耳鼻科、小児外科、形成外科の手術があり、硬膜外麻酔・神経ブロックを併用した全身麻酔を多く行っています。帝王切開は多数行われています。小児外科、形成外科、耳鼻科が乳幼児の手術を行っています。重度身障者児の入所施設があり、高度な気道・循環管理が要求されます。救急搬送を年間 1700 例受け入れており、HCU では重症者術後管理、呼吸器・循環器救急の集中治療の症例を経験できます。

川崎医科大学附属病院

研修実施責任者：戸田　雄一郎

専門研修プログラム連携施設担当者：戸田　雄一郎

専門研修指導医：

戸田　雄一郎（麻酔，集中治療，ペインクリニック）

佐藤　健治（麻酔，ペインクリニック）

前島　亨一郎（麻酔，集中治療）

谷野　雅昭（麻酔，集中治療，感染管理）

黒田　浩佐（麻酔，集中治療）

櫻井　由佳（麻酔，集中治療）

池本　直人（麻酔，集中治療）

作田　由香（麻酔，ペインクリニック）

専門医：

楳田　佳奈（麻酔）

申　木蓮（麻酔，集中治療）

寺岡　和賀子（麻酔，集中治療）

麻酔科認定病院番号：77

特徴：心臓血管手術，脳神経外科手術，呼吸器外科手術，腹腔鏡下手術（ロボット支援下手術を含む），婦人科手術，小児症例など，幅広い症例を研修することができる．救急に力を入れている病院であり，緊急症例の麻酔管理なども経験できる．また，ICU も麻酔科が管理しており，集中治療の研修も充分行える．ペインクリニック外来，緩和医療，和痛分娩などの研修も可能である。

川崎医科大学総合医療センター

研修実施責任者：大橋　一郎

専門研修指導医：

大橋　一郎（麻酔、集中治療、区域麻酔）
中塚　秀輝（麻酔、集中治療、ペインクリニック）
落合　陽子（麻酔、集中治療、老年麻酔）
林　真雄（麻酔、集中治療、心臓血管麻酔）
川口　勝久（麻酔、集中治療、心臓血管麻酔）
吉田　悠紀子（麻酔、集中治療、区域麻酔）
道田　将章（麻酔、集中治療）

麻酔科認定病院番号：211

特徴：地域の基幹病院として指導医数も充実しており、心臓血管外科、呼吸器外科、消化器外科、脳神経外科、内視鏡手術（ロボット手術を含む）等の大手術や神経ブロックを併用した整形外科手術の麻酔管理を研修することができる。集中治療室も麻酔科が主体となって管理しているため重症患者管理を研修することができる。

関西労災病院

研修実施責任者：前田　晃彦

専門研修指導医：

前田 晃彦（麻酔、心臓血管麻酔、区域麻酔）
上山 博史（麻酔、産科麻酔）
田村 岳士（麻酔）
清中 さわみ（麻酔）
田中 みちる（麻酔）
稲垣 佳苗（麻酔）

専門医：

中村 藍（麻酔）
河野 悠（麻酔）
加藤　裕美子（麻酔）
魚谷　美貴（麻酔）
安田　めぐみ（麻酔）
下川　茉理（麻酔）
劉　嘉叡（麻酔）

認定病院番号：327

特徴：阪神地区の急性期医療、がん診療の中核病院。２台の手術支援ロボットを有し消化器外科（食道、胃、大腸、肝臓、膵臓）呼吸器外科、泌尿器科、産婦人 科でロボット支援手術を行うなど領域によっては教育機関と同等以上の医療を実践。また心臓血管外科、脳神経外科、末梢神経ブロック施行症例も豊富である。

特定医療法人誠仁会大久保病院

研修実施責任者：井谷　基

専門研修指導医：

井谷　基

裏辻　悠子

金子　宏美

麻酔科認定病院番号：1754

特徴：東播磨地域で、整形外科、脳神経外科、外科、婦人科の症例を経験できますが、特に整形外科は脊椎外科、人工関節、肩手術が豊富で、今年度からは婦人科手術も増加の見込みです。ペインクリニックも併設しており、専門医２名でペインクリニック認定病院として近隣病院からの各種神経ブロック依頼も受けておりますが、最近は癌性疼痛も増えてきています。加えて緩和ケア病棟もあるため、癌性疼痛の管理も外来から入院後まで経過を見ながら、麻薬管理や各種神経ブロックを経験することが可能です。

西脇市立西脇病院

研修実施責任者：坂本　昇太郎

専門研修指導医：

坂本　昇太郎

鷲尾　輝明

麻酔科認定病院番号：1390

特徴：北播磨地域の病院として、一般外科、整形外科、脳神経外科、歯科口腔外科、婦人科の麻酔管理を研修することができる。希望があればペインクリニックや緩和ケアの研修を行うこともできる。

宮崎大学医学部附属病院

研修実施責任者： 恒吉 勇男

専門研修指導医:

恒吉　勇男（麻酔、集中治療、ペインクリニック）

指宿　昌一郎（麻酔）

谷口　正彦（集中治療）
山賀　昌治（ペインクリニック）
山下　幸貴（集中治療）
矢野　武志（麻酔、手術部）
川﨑　祐子（麻酔）
與那覇　哲（集中治療）
田村　真由子（麻酔）
越田　智広（集中治療）
太田尾　剛（麻酔）
石山　健次郎（麻酔）
深尾　麻由（集中治療）
日髙　康太郎（麻酔）
児玉　芳史　（麻酔）
吉海　瑞穂（ペインクリニック）
興梠　聡志（麻酔）
清水　拓海（麻酔）

麻酔科認定病院番号：174

特徴：宮崎大学では、麻酔の初歩から食道がん手術や心臓手術などの高度な麻酔に加え、ICU やペインクリニックなどの専門技術を習得する。最先端手術の TAVI 手術やロボット手術（ダビンチ手術）の麻酔も経験できる。

高知医療センター

研修実施責任者　鬼頭　英介

専門研修指導医：

山下　幸一(麻酔、集中治療)
鬼頭　英介(麻酔、集中治療)
濵田　暁（麻酔、集中治療）
大澤　さやか(麻酔、集中治療)
濵口　英佑（麻酔、集中治療）
濵田　奈保(麻酔、集中治療)
山本　賢太郎(麻酔、ペインクリニック)
石田　彩子(麻酔)
武市　桃子(麻酔)

専門医：

細木　葵（麻酔）

近藤　智（麻酔）
竹崎　めぐみ（麻酔）

麻酔科認定病院番号：66

特徴：当院には 11 室の手術室があり（ハイブリッドルーム 1 室を含む）、2025 年度（令和 7 年度）の手術件数は約 5207 件、そのうち麻酔科管理全症例数は約 4300 件でした。麻酔科専門医の取得に必要な症例（帝王切開、心臓血管外科、胸部外科、小児麻酔、脳神経外科）を全て網羅しており、緊急手術の麻酔経験も十分積むことができます。

ICU は病床数 12 床で、後方病床として HCU20 床を有する、麻酔科医が管理する semi-closed ICU です。人工呼吸、血液浄化、ECMO、Impella などが常時行える体制が整っており、現在、3 名の集中治療専門医が中心となって、外科術後患者（心臓血管外科、呼吸器外科、肝胆膵外科、食道癌根治術、腎移植など）、救急外来からの重症患者（敗血症、外傷、ACS、中毒など）、病棟からの急変患者などを受け入れています。空気感染対策用の前室付き陰圧室が ICU に 2 室、HCU に 3 室あり、重症 COVID19 診療も行っています。

集中治療、ペインクリニックのローテーションも可能です。

国立循環器病研究センター

研修実施責任者：前田　琢磨

専門研修指導医：

前田　琢磨
金澤　裕子
南　公人
下川　亮
月永　晶人
森永　將裕
三浦　真之介

麻酔科認定病院番号：168

センター手術室は 12 室であり、そのうち 4 室はハイブリッド手術室です。ロボット手術専用室や COVID 対応陰圧手術室も設置しています。特に冬は緊急大動脈解離手術が多くなります。劇症型心筋炎や心筋症増悪に対する左室補助装置装着手術も多いです。心臓移植はおよそ月 1 回程度あります。麻酔科医はスタッフ 8 名レジデント 18 名で対応しています。休日を含めた毎日、麻酔科医 2 名が当直、オンコール 1 名ですべての緊急症に対応しています。

宇治徳洲会病院

研修プログラム統括責任者：竹田　智浩

専門研修指導医：

竹田　智浩（麻酔）

槇尾　真理（麻酔）

上田　陽子（麻酔）

佐竹　早紀子（麻酔）

福島　弘子（麻酔）

（ 麻酔科認定病院番号：1258 ）

特徴：当院は高度救命救急センター（民間病院では全国で2番目の認定)、地域がん診療連携拠点病院地域周産期母子医療センター、脳血管センター（１次脳卒中センターのコア施設）の指定を受けております。

緊急手術も多く、特に京都府南部地域で心臓大血管手術管理の件数が最も多いです。また、外傷センター、四肢接合センターの設立、ハイブリッドERなどの設備も整えております。

ロボット（ダビィンチ・HUGO）手術は、泌尿器科・消化器外科で行っています。

硬膜外ブロックをはじめとした神経ブロック症例も豊富に研修ができます。手術の麻酔管理以外に、ペインクリニック（認定施設）の研修も可能です。サブスペシャリティーは、心臓血管麻酔専門医、集中治療専門医取得が可能です。

社会医療法人天陽会中央病院

研修実施責任者：槐島　愛子

専門研修指導医：

槐島　愛子

小野　雄介

麻酔科認定病院番号：1573

特徴：循環器内科・心臓血管外科の診療体制が充実しており、心臓血管外科手術に加えて循環器合併症のある患者さんの外科・整形外科手術の麻酔管理を研修することが可能です。

関西医科大学附属病院

研修実施責任者：上林 卓彦

専門研修指導医：

上林 卓彦 （麻酔）

萩平 哲 （麻酔，呼吸器外科麻酔）

中本 達夫 （麻酔，ペインクリニック，区域麻酔，神経ブロック）

梅垣 岳志 （麻酔，集中治療）

井口　直也　（麻酔，集中治療）
伊藤 明日香　（麻酔，心臓血管麻酔）
野々村 智子　（麻酔）
旭爪 章統　（麻酔，ペインクリニック）
金沢 路子　（麻酔，産科麻酔）
楠　宗矩　（麻酔）
右馬　猛生　（麻酔，集中治療）
添田 岳宏　（麻酔，集中治療）
内田 整　（麻酔，小児麻酔）

専門医：
橋本 千香子（麻酔）
福井 有華（麻酔）

麻酔科認定病院番号：1234
特徴：麻酔の各種分野（呼吸器外科麻酔、小児麻酔、心臓血管麻酔、ペインクリニック、産科麻酔）のエキスパートが揃っており、多数・多彩な疾患・手術患者に対する科学的全身管理が研修可能である。
また、総合集中治療部では麻酔科を中心に closed system で集中治療診療を行っており、内科系・外科系を問わず重症患者の全身管理が研修できます。

加古川中央市民病院

研修実施責任者：久次米　依子
専門研修指導医：
久次米　依子
木ノ下　直央子
豊嶋　恭子
篠崎　裕美
柘植　江里香
横尾　知樹
山嵜　遼
大西　三千代
川上　将和

麻酔科認定病院番号：1825
特徴：兵庫県東播地域の地域中核病院である。手術件数は約8500件、麻酔科管理は5000件で多彩な手術が行われている。地域周産期母子医療センターであり、帝王切開

をはじめとした産科手術をはじめ、小児を含む心臓血管外科手術の手術麻酔管理を研修することができる。神経ブロック症例も豊富に研修できる。

国立がん研究センター中央病院

研修実施責任者 ： 佐藤 哲文（麻酔、集中治療）

専門研修指導医 ：

佐藤 哲文（麻酔、集中治療）

松三 絢弥（麻酔、集中治療）

小坂 順子（麻酔、集中治療）

川口 洋佑（麻酔、集中治療）

大額 明子（麻酔）

大石 悠理（麻酔、集中治療）

重松 美沙子（麻酔・集中治療）

塩路 直弘（麻酔、集中治療）

佐々木 咲子（麻酔）

榎本 有希（麻酔・集中治療）

認定病院番号: 43

特徴: 東京都中心部に位置するがん治療・がん研究の拠点病院で、悪性腫瘍手術全般、特に胸部腹部外科手術の麻酔管理を研修することができる。集中治療部の研修も可能である。

神戸市立医療センター西市民病院

研修実施責任者：榎　泰二郎

専門研修指導医：

榎　泰二郎（麻酔）

岡崎　俊（麻酔）

若松　拓彦（麻酔）

星　歩美（麻酔）

認定病院番号：　893

特徴：神戸市民病院機構に属し、神戸市西部の地域中核病院として心臓大血管手術、脳外科手術以外の手術麻酔管理を研修することができる。また、神経ブロック症例を多く経験することができる。

兵庫県立丹波医療センター

研修実施責任者：若林　潤二

専門研修指導医：

波部　和俊（麻酔）

若林　潤二（麻酔）

麻酔科認定病院番号：1936

特徴：丹波地域の中核病院として、一般外科、整形外科、帝王切開を含む産婦人科症例、脳神経外科の麻酔経験をすることができる。特に高齢者が多いため、種々の合併症を持った患者の麻酔管理を勉強することができる。また、術後鎮痛として硬膜外麻酔、神経ブロックを積極的に行っている。

社会医療法人三栄会ツカザキ病院

研修実施責任者：垣内　好信

専門研修指導医：

垣内　好信（麻酔、集中治療）

木村　幸平（麻酔）

中西　万貴（麻酔）

専門医：

納庄　弘基（麻酔）

樫林　真美（麻酔）

松崎　千明（麻酔）

山下　浩司（麻酔）

麻酔科認定病院番号：1524

特徴：中播磨・西播磨の地域中核病院として、心臓血管手術、脳神経外科手術、透視下での神経ブロック症例等を多く研修することができる。救急・集中治療に関する豊富な経験が可能である。

医療法人徳洲会　大隅鹿屋病院

研修実施責任者：　井上　敏

専門研修指導医：

井上　敏

麻酔科認定病院番号：1306

特徴：呼吸と循環管理のプロとなるべく徹底的に、心臓外科手術及び、外科の重症症例にてトレーニングを積んで頂きます。幸い、私たちの病院では、外科は肺～食道～肝胆膵～下部消化管等のほぼ全てのジャンルで手術をしております。心臓外科でも、

緊急の大血管症例も豊富で成人開心術症例のトレーニングには最適です。また、土地柄、患者さんが高齢であり、麻酔科的合併症も潜在的に認められ、それ故、麻酔科的実力は必然的に身に付いていくと考えています。

関西医科大学総合医療センター

研修実施責任者：増澤宗洋

専門研修指導医：

増澤　宗洋（麻酔，ペインクリニック，緩和ケア）
阪本　幸世（麻酔）
吉田　敬之（麻酔）
宇野　梨恵子（麻酔）
緒方　洪輔（麻酔，ペインクリニック，緩和ケア）

専門医：

湊　綾那（麻酔, ペインクリニック, 緩和ケア）
丸山　祥子　（麻酔）
村上　瑛亮　（麻酔，ペインクリニック，緩和ケア）

認定病院番号：30

特徴：関西医科大学総合医療センターにおける教育の根本は麻酔科の総合医を作ることである．心臓超音波診断や末梢神経ブロックは全国でも有数な技術を持った麻酔科医が在籍している．脳死臓器移植もこれまで10例行った．ペインクリニックや緩和医療も行っており，集中治療を加えた3本柱がすべてそろった施設である。

公仁会姫路中央病院

研修実施責任者：打田　智久

専門研修指導医：

打田　智久

麻酔科認定病院番号：1645

特徴：中播磨地域で、一般外科、整形外科、脳神経外科症例の麻酔経験ができます。神経内科の盛んな病院のため、神経内科疾患などの合併症を持った患者の麻酔経験が比較的多くできます。ペインクリニックも併設しているため、これらの症例を経験することも可能です。

兵庫県立はりま姫路総合医療センター

研修実施責任者：佐藤　仁昭

専門研修指導医：

佐藤　仁昭（麻酔，ペインクリニック）
長江　正晴（麻酔）
本山　泰士（麻酔，ペインクリニック）
安本　高規（麻酔）
畑澤　佐知（麻酔）

専門医：
岡本　修佑（麻酔）
木村　拓也（麻酔）
戸田　美希（麻酔）

認定病院番号　2004

特徴：地域の中核病院として、common　diseasesから高度専門・先進医療まで幅広く対応している。そのため麻酔管理としても多種多彩な症例を経験することができる。加えて、救命救急センターとして循環器疾患や多発外傷症例も多く、重症患者の緊急手術を数多く経験できる。

北播磨総合医療センター

研修実施責任者：武士　昌裕

専門研修指導医：
武士　昌裕
粟倉　英恵
神岡　翼
盛房　槙子
森下　大樹

麻酔科認定病院番号：1642

特徴：北播磨の地域中核病院として、心臓大血管手術をはじめオールラウンドの手術麻酔管理を研修することができる。神経ブロック症例も豊富である。ICU10 床・HCU20 床は基本的に各科管理ではあるが、重症患者の呼吸・循環・鎮痛鎮静管理を学ぶことができる。ペインクリニック認定施設ではないが、外来は週二回行っており、経験することは可能である。

三田市民・済生会病院

研修実施責任者： 溝渕知司

専門研修指導医：
溝渕知司（麻酔）

麻酔科認定病院番号 752
特徴：地域の急性期病院として、整形外科手術、泌尿器科手術、一般外科手術の麻酔が主であり、術前術後管理を含めた麻酔の基本を学ぶ症例が多く経験できる。高齢者の麻酔も多い。神経ブロックを多くの症例で行っており、超音波ガイド下末梢神経ブロックの症例を多く研修することが可能である。また、学会発表や論文作成、臨床研究立案も経験できる。

三重大学医学部附属病院

研修プログラム統括責任者：賀来　隆治
専門研修指導医：賀来　隆治（麻酔，集中治療，ペインクリニック）
横地　歩　（麻酔，ペインクリニック）
坂倉　庸介（麻酔）
小野　大輔（麻酔，集中治療，ペインクリニック）
松原　貴子（緩和医療）
竹口　有美（緩和医療）
坂本　正　（麻酔，ペインクリニック）
生川　未菜（麻酔）
山﨑　貴史（麻酔）

認定病院番号：163
特徴：すべての外科系診療科が揃っており，年間6,000例以上の麻酔科管理症例があるため，専門医の取得に必要な症例を豊富に経験できる．また新生児の手術，超高齢者に対する心臓血管デバイス治療など，幅広い症例を経験することが可能である．硬膜外麻酔，神経ブロックなど区域麻酔を積極的に併用しており，早期に手技を身につけることができる環境である．手術麻酔だけでなく，集中治療，ペインクリニック，緩和医療の研修も可能である．

社会医療法人近森会　近森病院

研修実施責任者：杉本　健太郎
専門研修指導医：
杉本　健太郎（麻酔）
野島　宏悦（麻酔）
中谷　真大（麻酔）
上坪　知世（麻酔）

研修委員会認定病院　認定病院番号：413
特徴：
・緊急手術症例が豊富である。
・心臓大血管手術の麻酔と、心カテーテル手術(大動脈弁・僧帽弁・卵円孔・左心耳)の麻酔の症例が豊富である。

5. 専攻医の採用と問い合わせ先

① 採用方法

専攻医に応募する者は，日本専門医機構に定められた方法により，期限までに志望の研修プログラムに応募する．

② 問い合わせ先

本研修プログラムへの問い合わせは、神戸大学麻酔科専門研修プログラム website、電話、e-mail、郵送のいずれの方法でも可能である。

神戸大学医学部附属病院　麻酔科 小幡典彦　教授
〒650-0017　兵庫県神戸市中央区楠町 7-5-2
TEL　078-382-6172
FAX　078-382-6189
E-mail　anesth@med.kobe-u.ac.jp
Website　http://www.med.kobe-u.ac.jp/anes/index.html

6. 麻酔科医資格取得のために研修中に修めるべき知識・技能・態度について

① 専門研修で得られる成果（アウトカム）

麻酔科領域の専門医を目指す専攻医は，4年間の専門研修を修了することで，安全で質の高い周術期医療およびその関連分野の診療を実践し，国民の健康と福祉の増進に寄与することができるようになる．具体的には，専攻医は専門研修を通じて下記の4つの資質を修得した医師となる．

１）十分な麻酔科領域，および麻酔科関連領域の専門知識と技能
２）刻々と変わる臨床現場における，適切な臨床的判断能力，問題解決能力
３）医の倫理に配慮し，診療を行う上での適切な態度，習慣
４）常に進歩する医療・医学に則して，生涯を通じて研鑽を継続する向上心

麻酔科専門研修後には，大学院への進学やサブスペシャリティー領域の専門研修を開始する準備も整っており，専門医取得後もシームレスに次の段階に進み，個々のスキルアップを図ることが出来る．

② **麻酔科専門研修の到達目標**

国民に安全な周術期医療を提供できる能力を十分に備えるために，研修期間中に別途資料**麻酔科専攻医研修マニュアル**に定められた専門知識，専門技能，学問的姿勢，医師としての倫理性と社会性に関する到達目標を達成する．

③ **麻酔科専門研修の経験目標**

研修期間中に専門医としての十分な知識，技能，態度を備えるために，別途資料**麻酔科専攻医研修マニュアル**に定められた経験すべき疾患・病態，経験すべき診療・検査，経験すべき麻酔症例，学術活動の経験目標を達成する．

このうちの経験症例に関して，原則として研修プログラム外の施設での経験症例は算定できないが，地域医療の維持など特別の目的がある場合に限り，研修プログラム管理委員会が認めた認定病院において卒後臨床研修期間に経験した症例のうち，専門研修指導医が指導した症例に限っては，専門研修の経験症例数として数えることができる．

7. 専門研修方法

別途資料**麻酔科専攻医研修マニュアル**に定められた１）臨床現場での学習，２）臨床現場を離れた学習，３）自己学習により，専門医としてふさわしい水準の知識，技能，態度を修得する．

8. 専門研修中の年次毎の知識・技能・態度の修練プロセス

専攻医は研修カリキュラムに沿って，下記のように専門研修の年次毎の知識・技能・態度の到達目標を達成する．

専門研修１年目

手術麻酔に必要な基本的な手技と専門知識を修得し，ASA１～２度の患者の通常の定時手術に対して，指導医の指導の元，安全に周術期管理を行うことができる．

専門研修２年目

１年目で修得した技能，知識をさらに発展させ，全身状態の悪いASA３度の患者の周術期管理やASA１～２度の緊急手術の周術期管理を，指導医の指導のもと，安全に行うことができる．

専門研修 3 年目

心臓外科手術，胸部外科手術，脳神経外科手術，帝王切開手術，小児手術などを経験し，さまざまな特殊症例の周術期管理を指導医のもと，安全に行うことができる．また，ペインクリニック，集中治療，救急医療など関連領域の臨床に携わり，知識・技能を修得する．

専門研修 4 年目

3 年目の経験をさらに発展させ，さまざまな症例の周術期管理を安全に行うことができる．基本的にトラブルのない症例は一人で周術期管理ができるが，難易度の高い症例，緊急時などは適切に上級医をコールして，患者の安全を守ることができる．

9. 専門研修の評価（自己評価と他者評価）

① 形成的評価

- 研修実績記録 : 専攻医は毎研修年次末に，**専攻医研修実績記録フォーマット**を用いて自らの研修実績を記録する. 研修実績記録は各施設の専門研修指導医に渡される．
- 専門研修指導医による評価とフィードバック : 研修実績記録に基づき，専門研修指導医は各専攻医の年次ごとの知識・技能・適切な態度の修得状況を形成的評価し，**研修実績および到達度評価表**，**指導記録フォーマット**によるフィードバックを行う. 研修プログラム管理委員会は，各施設における全専攻医の評価を年次ごとに集計し，専攻医の次年次以降の研修内容に反映させる．

② 総括的評価

研修プログラム管理委員会において，専門研修４年次の最終月に，**専攻医研修実績フォーマット**，**研修実績および到達度評価表**，**指導記録フォーマット**をもとに，研修カリキュラムに示されている評価項目と評価基準に基づいて，各専攻医が専門医にふさわしい①専門知識，②専門技能，③医師として備えるべき学問的姿勢，倫理性，社会性，適性等を修得したかを総合的に評価し，専門研修プログラムを修了するのに相応しい水準に達しているかを判定する．

10. 専門研修プログラムの修了要件

各専攻医が研修カリキュラムに定めた到達目標，経験すべき症例数を達成し，知識，技能，態度が専門医にふさわしい水準にあるかどうかが修了要件である．各施設の研修実施責任者が集まる研修プログラム管理委員会において，研修期間中に行われた形成的評価，総括的評価を元に修了判定が行われる．

11. 専攻医による専門研修指導医および研修プログラムに対する評価

専攻医は，毎年次末に専門研修指導医および研修プログラムに対する評価を行い，研修プログラム管理委員会に提出する．評価を行ったことで，専攻医が不利益を被らないように，研修プログラム統括責任者は，専攻医個人を特定できないような配慮を行う義務がある．

研修プログラム統括管理者は，この評価に基づいて，すべての所属する専攻医に対する適切な研修を担保するために，自律的に研修プログラムの改善を行う義務を有する．

12. 専門研修の休止・中断，研修プログラムの移動

① 専門研修の休止

- 専攻医本人の申し出に基づき，研修プログラム管理委員会が判断を行う．
- 出産あるいは疾病などに伴う 6 ヶ月以内の休止は 1 回までは研修期間に含まれる．
- 妊娠・出産・育児・介護・長期療養・留学・大学院進学など正当な理由がある場合は，連続して 2 年迄休止を認めることとする．休止期間は研修期間に含まれない．研修プログラムの休止回数に制限はなく，休止期間が連続して 2 年を越えていなければ，それまでの研修期間はすべて認められ，通算して 4 年の研修期間を満たせばプログラムを修了したものとみなす．
- 2 年を越えて研修プログラムを休止した場合は，それまでの研修期間は認められない．ただし，地域枠コースを卒業し医師免許を取得した者については，卒後に課せられた義務を果たすために特例扱いとし 2 年以上の休止を認める．

② 専門研修の中断

- 専攻医が専門研修を中断する場合は，研修プログラム管理委員会を通じて日本専門医機構の麻酔科領域研修委員会へ通知をする．
- 専門研修の中断については，専攻医が臨床研修を継続することが困難であると判断した場合，研修プログラム管理委員会から専攻医に対し専門研修の中断を勧告できる．

③ 研修プログラムの移動

- 専攻医は，やむを得ない場合，研修期間中に研修プログラムを移動することができる．その際は移動元，移動先双方の研修プログラム管理委員会を通じて，日本専門医機構の麻酔科領域研修委員会の承認を得る必要がある．麻酔科領域研修委員会は移動をしても当該専攻医が到達目標の達成が見込まれる場合にのみ移動を認める．

13. 地域医療への対応

本研修プログラムの連携施設には，地域医療の中核病院としての兵庫県立淡路医療センター，市立加西病院など幅広い連携施設が入っている．医療資源の少ない地域においても安全な手術の施行に際し，適切な知識と技量に裏付けられた麻酔診療の実施は必要不可欠であるため，専攻医は，大病院だけでなく，地域での中小規模の研修連携施設においても一定の期間は麻酔研修を行い，当該地域における麻酔診療のニーズを理解する．

14.専攻医の就業環境の整備機能（労務管理）

研修期間中に常勤として在籍する研修施設の就業規則に基づき就業することとなります．専攻医の就業環境に関して，各研修施設は労働基準法や医療法を順守することを原則とします．プログラム統括責任者および各施設の研修責任者は専攻医の適切な労働環境（設備，労働時間，当直回数，勤務条件，給与なども含む）の整備に努めるとともに、心身の健康維持に配慮します．

年次評価を行う際，専攻医および専門研修指導医は研修施設に対する評価（Evaluation）も行い，その内容を専門研修プログラム管理委員会に報告する． 就業環境に改善が必要であると判断した場合には、当該施設の施設長、研修責任者に文書で通達・指導します．